

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学生の学習成果を測定するための基準・指数の開発に向けた検討を行う。	→学習成果測定の基準・指数の開発の状況	C
2. 学生が自身の学習成果を認識・測定できるような方法を検討する。	→学習成果の認識・測定方法の検討状況	C
3. 卒業生の就職先および卒業生の法学部に対する評価を教育にフィードバックする仕組みを検討する。	→就職先、卒業生に対する法学部教育に関するアンケートの実施	C
4. 学士学位の授与基準・手続について検討する。	→学士学位の授与基準・手続の検討状況	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

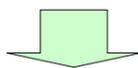
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(方針) 教育目標に沿った成果を上げるため、学生の学習成果を測定するための評価指標を検討し、学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）のための調査を実施する。 (現状説明) 学生の学習成果を測定するための評価指標を検討しているが、現下の状況では容易ではない。学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）のための調査については、実施に向けて検討中である。
☆ 小項目6.4.2	(方針) 学位授与（卒業・修了判定）を適切に行う。 (現状説明) 学位授与基準、学位授与手続について検討中である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	



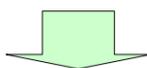
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○6.4「教育成果」は一般的にもっとも対応の遅れている項目ですが、たとえば貴学部から貴大学の法学研究科へ進学した学生へのアンケート等から始めることも考えられます。

○6.1の繰り返しになりますが、学位授与基準の早急な策定が望まれます。

【学内委員】

○目標がいずれも「検討する」ことになっています。できるだけ早く検討を終えて、実施目標の設定、実施にうつすことが期待されます。

○「C」評価については改善方策等についての記述があった方が望ましいと思われま。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

小項目6.4.2の(方針)については、学位授与方針の策定に向けて検討を進めているところである。これにより、学位授与(卒業・修了判定)を適切に行う。

☆ 小項目6.4.2の(改善方策)として、法学部の学位授与方針の内容の具体化を行いながら、学位授与基準・手続の整備に向けた作業を進める。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次 Semester ごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
